星惑星形成班 検討最終報告

(星形成) 中島康、大朝由美子、中村文隆 (惑星系形成) 片岡章雅、野村英子、本田充彦、武藤恭之 松尾太郎、佐々木貴教、成田憲保、住貴宏 + 深川美里(編集委員)、高見道弘(班長)

Thanks to:藤原英明、内山瑞穂、小谷隆行、日下部展彦 (国立天文台)、西合一矢(現大阪 府立大)、伊藤洋一(兵庫県立大・西はりま)、秋田谷洋氏(広島大)、大山陽一、Wei-Hao Wang、 Yen-Ting Lin (台湾中央研究院)、津村耕司 (東北大) 大内正己 (初代天体・再電離班)、田中賢幸 (銀河進化・構造形成班)、田中雅臣 (恒星物理・超新 星・晩期型星班)、河原創 (系外惑星班)、関口朋彦 (太陽系班)

低質量星+惑星系形成の概要



- 降着円盤 (原始惑星系円盤) の生成
- ジェット・
 アウトフロー
- 円盤内での

 惑星系形成





©Persson, Magnus Vilhelm

個々の星の誕生過程および質量決定

大質量星も低質量星と同様に生成?

- 円盤→中心天体降着の探査
- 深撮像による合体成長シナリオの検証

ミッション要求 キーワード

中間赤外、高感度+高分散分光、 高感度+高分解能撮像など

超低質量天体はなぜ超低質量?

- 形成中の天体の質量と進化段階の推定
- 円盤→中心天体降着の探査

中間-遠赤外測光 赤外高感度低分散分光、輝線撮像



<u>http://www.ita.uni-heidelberg.de/research/</u> <u>klessen/current/pom/?lang=de</u>



©NAO



星の初期質量関数

 生成励起メカニズムや生成環境(UV放 射、金属量など)により異なるか?

ミッション要求 キーワード

近赤外、高感度 (+広視野) 撮像など



赤外暗黒星雲の星生成

©Hubble Space Telescope/STScl

- 特殊条件の星生成物理の検証
- 銀河全体の星生成への貢献度は?
 中-遠赤外、高感度撮像(+分光)





ダスト・微惑星成長

ガス惑星形成期 惑星へのガス降着 円盤との相互作用 惑星の軌道進化 (I)

原始惑星系円盤の 消失以降

惑星の軌道進化 (II) 地球型惑星の形成 残骸円盤







<u>問題点</u>

理論的には、惑星は簡単に 形成・維持できない。

さまざまな問題が存在。

形成に関連する個々の プロセス・物理を観測で検証

©理科年表

惑星系形成初期の円盤

- 乱流形成・維持の検証
 → 円盤構造の観測
- ・ 微惑星成長モデルの検証

 → 散乱光カラー(→ダスト形状)
- ・ガス惑星系形成・進化の検証
 → 雪線の探査、C/O比分布
- 物質循環および熱変遷史
 → 非晶性・結晶性
 シリケイトの分布
 - *ミッション キーワードは 次スライド





ガス惑星形成・原始惑星系円盤の散逸

- 原始惑星へのガス降着の探査
 → 可視-赤外SED
- 円盤-惑星相互作用の検証
 - → 円盤構造
- 惑星形成シナリオの検証
 → HD輝線観測による円盤寿命推定
 - 可視-中間赤外
 高感度+高分解能撮像
 (+偏光撮像、分光撮像)
 - 可視-赤外高感度高分散分光
 - 遠赤外高感度分光



渦巻腕

100 天文単位

100 天文単位

©NAO

原始惑星系円盤消失後

<u>残骸円盤</u>

- 惑星系の進化史の理解
- 地球型惑星への水供給メカニ ズムの理解
 - →円盤構造・力学
 - →鉱物および氷組成、円盤ガスと
 その分布

<u>系外惑星</u>

● 惑星系形成モデルの検証 →系外惑星統計の改善

- 可視-中間赤外、
 高感度+高分解能撮像
 (+偏光撮像、分光撮像)
- 中-遠赤外測光
- 近-遠赤外、低分散分光
- 近赤外、高感度+高分解能撮像
- 可視-近赤外、高精度測光、
 アストロメトリ
- 可視-近赤外、高精度高分散分光



- TMT (コロナグラフ、偏光撮像、中間赤外装置、近赤外撮像装置)
 - 最重要。上記装置をいつ稼働できるかが鍵。
- SPICA
 - TMTによる観測と相補的。
 - 惑星系形成においては、HRSが特に重要。
- すばる、WFIRST(多天体分光、可視高分解能撮像など)
 - TMTおよびSPICAが稼働する前のサイエンス成果を約束。
- スペース高精度測光、アストロメトリ